

ナショナル大学に於ける JICA チェア開講にあたっての挨拶（仮訳）

於 エレディア

2025 年 9 月 10 日

JICA コスタリカ所長 吉田憲

有吉勝秀 駐コスタリカ日本国特命全権大使閣下

ジャネット・バルベルデ・チャベス 教育担当副学長

国際大学の加藤博教授

マリア・フェルナンダ・モラレス・カマーチヨ 国立大学国際関係学部教授・JICA

チェア コーディネーター

そして教職員・学生の皆さま、

皆さま、こんにちは。

まず初めに、この一連の講義の開催にあたりご尽力くださったナショナル大学国際関係学部の先生方、そして調整を進めてくださった多くの皆さまに、心より感謝申し上げます。

今回の講義シリーズは、「JICA チェア、日本研究支援プログラム」の一環として実施されるものです。このプログラムは、JICA が世界 80 か国以上の優れた大学と連携して推進しているもので、ここコスタリカではナショナル大学（UNA）とコスタリカ大学（UCR）がそのパートナーとして参加しています。

JICA チェアは、日本の開発経験を理解し、その学びをさまざまな分野に生かすことを目的に創設されました。そのため、JICA と協力大学はこの目的の実現に向け、講義やコース、シンポジウムなどの活動を行っています。

2023 年以降、JICA とナショナル大学はこの JICA チェアの推進に向けて協力しており、その成果として、現在 UNA では「現代日本」という単位付き科目が正式に開講されています。このような形で日本について学ぶ機会が制度化されたことを、JICA としても大変嬉しく思っております。

さらに、UNA ではすでに JICA ボランティアが長きに渡り日本語教育の支援を行っています。多くの皆さんはすでに寿司やマンガなどのポップカルチャーを通じて日本に親しみを感じているかもしれませんが、今日の講義が日本への理解と関心をより一層深める機会となることを願っています。

最後に、JICA とコスタリカの協力の歴史は半世紀を超えます。その長い年月の中で、ナショナル大学は常に重要な役割を果たしてこられました。さまざまな協力形態を通じて築かれてきたこの絆に、心から敬意を表します。

今後も、このような学術的交流の場を共に広げながら、JICA チェアをさらに発展させていきたいと思っております。

ありがとうございました。プーラ・ビーダ！